

2024.8.5

ギカイ の ひろば

◆CONTENTS

補正予算可決 ▶P4

～デマンド交通実証実験スタートへ～

議会モニター委嘱式 ▶P13

～新年度スタート～



特集

瑞穂町 商工会

まちの産業を支える商工会

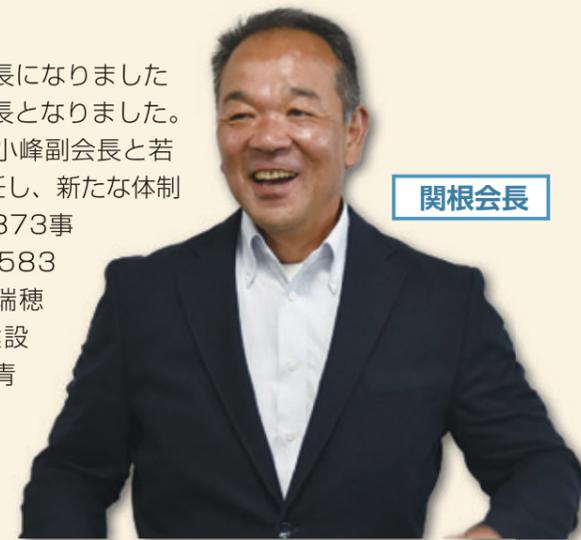
瑞穂町商工会

地域における中小・小規模事業所の振興と地域経済の活性化を目指している瑞穂町商工会では、今年度役員の変更がありました。瑞穂町商工会史上最年少の会長や初の女性副会長などが就任し、新体制となった瑞穂町商工会役員の皆さま(会長、副会長2名)からお話を伺いました。

建設業部



小峰 部会長
組織強化の推進、研修会などの開催、瑞穂建設業協会との連携を図っていきたい。また、以前実施していた住宅改修等補助の復活を瑞穂町に呼び掛けていきたい。



関根会長

5月に瑞穂町商工会の会長になりました関根です。歴代最年少で会長となりました。また、副会長には女性初の小峰副会長と若手経営者の久松副会長が就任し、新たな体制で臨みます。現在、会員は873事業所、地区内商工業者数1,583人、組織率55.1%です。瑞穂町商工会は商業、工業、建設業、環境衛生業の4部会と青年部、女性部で構成されています。私たちはそれぞれ瑞穂町をもっと元気に、活気あふれる町にするために活動しています。現在、会員募集中です。一緒に町を盛り上げましょう。皆さまの参加をお待ちしています。



青年経営者の主張大会



産業交流展に共同出展した瑞穂ファントム工場



瑞穂町産業まつりに出店した環境衛生業部

工業部



菅原 部会長
来るもの拒まず。みんなで力を合わせて受注しましょう。

商業部



西村 部会長
元気な商店づくりで瑞穂町を盛り上げます!

環境衛生業部



長谷川 部会長
心通うおもてなし。お客さまに楽しい時間を提供します。



私たちがサポートします!
商工会スタッフ一同

皆さまのご相談に耳を傾け、親しんでいただける商工会、輝く商工会、輝く瑞穂町を目指し、細やかな気遣いとパワーで女性活躍の扉を開きたいです!



小峰副会長



久松副会長

交流会やイベントに参加することで、他の経営者と知り合い、人脈を築くことができます。

Q 新しい体制になりました。抱負をお聞かせください。

関根会長：事業の継承も大切ですが、先のことを考えた新しい展開も大切です。事業にどう向き合うか悩んだとき、気楽に相談できる窓口でありたいと思います。特に、若い人たちが足を運びやすい環境にしたいですね。

小峰副会長：女性が役員となることで瑞穂町も変わるかと思いました。みんなで意見交換をしながら輝ける瑞穂町、商工会を作りたいです。やる気十分です!

久松副会長：急激な世代交代で不安もありますが、関根会長のもと頑張っていきたい。

Q 商工会に入るメリットを教えてください。

久松副会長：経験豊富な専門集団から、事業計画、販路拡大、資金調達などのアドバイスが受けられます。同業者や他業種との連携による新たなビジネスチャンスの可能性もあります。



信廣 女性部長
おかげさまで女性部は創立40周年を迎えました。女性部員一同、町の一助となるよう活動を進めて参ります。



関根 青年部長
45歳以下の若手経営者、後継者で構成。さまざまなプロジェクトを企画立案・実行中の“ワクワクチャレンジャー軍団”です。

令和6年第2回瑞穂町議会定例会議案

全会一致で可決（承認・同意・適任）された議案等

議案第 44 号	専決処分の承認について（瑞穂町税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	
議案第 45 号	専決処分の承認について（瑞穂町都市計画税条例の一部を改正する条例）	
議案第 46 号	専決処分の承認について（瑞穂町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	
議案第 47 号	専決処分の承認について（令和5年度瑞穂町一般会計補正予算（第9号））	
議案第 48 号	瑞穂町多世代交流センターの設置及び管理に関する条例	pick up1
議案第 49 号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 50 号	瑞穂町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第 51 号	瑞穂町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第 52 号	瑞穂町高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	pick up2
議案第 53 号	瑞穂町福祉作業所の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例	
議案第 54 号	瑞穂町下水道条例の一部を改正する条例	
議案第 55 号	瑞穂町固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第 56 号	長岡財産区管理会管理委員の選任について	
議案第 57 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	
議案第 58 号	第5分団消防ポンプ自動車購入契約について	
議案第 59 号	令和6年度瑞穂町一般会計補正予算（第2号）	pick up3
議案第 60 号	令和6年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	
議案第 61 号	令和6年度瑞穂町一般会計補正予算（第3号）	

pick up1

議案第48号 瑞穂町多世代交流センターの設置及び管理に関する条例

長年、高齢者福祉センターとして活用されてきた「寿楽」が多世代交流施設に生まれ変わります。7年度の開設を前に、開館時間、利用料金や管理などに関する条例について町側から議案の提出がありました。なお、愛称は公募により「ミズカル」となりました。



「多世代交流ワークショップ」で行われたeスポーツ大会(7月6日)

Q 利用料金が安価に設定されていないか。算定根拠と運用は。

A 「寄り合いハウスいこい」の使用料や他市の施設単価を参考に算定した。また、若い方々にも使っていただきたいという意味合いで料金設定をしている。今後、時間枠を設けるため、使用する時間帯によって料金が変わることを想定している。

Q 予定している事業内容が多岐にわたるが管理は指定管理者一者で可能か。

A 施設運営については、一者が本来望ましいが、専門性を持った事業者が複数グループを組んで申し込むことも想定している。

pick up2

議案第52号 瑞穂町高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

通院1回の一部負担金200円を撤廃。高校生等(高等学校の就学期にある方)の医療費完全無償化へ。



pick up3

議案第59号 令和6年度瑞穂町一般会計補正予算(第2号)

デマンド交通実証実験に約897万円。利便性向上を目指して。

Q デマンド交通の利用対象者は。

A 町内在住の70歳以上の高齢者、障害者手帳所持者および介護人、妊産婦を対象とし、事前登録制を想定している。

Q 運行内容は。

A 予約に応じて運行する形態となる。使用する車両はワゴン車1台で、対象区域は町内全域である。運行日は八高線を境に東部、西部に分けて、東部は火・金・土曜日、西部は月・水・土曜日を想定している。乗降場所は町内の公共施設、医療機関、商業施設、金融機関など約100か所の設置を予定している。

Q 運賃は。

A 今の時点では、中心地3km未満は300円、それ以上は500円を想定している。



武蔵村山市の乗合型タクシー「むらタク」

高校受験をサポート



瑞穂中学校での授業風景

Q 地域学校協働本部スタディアシストプラス事業の内容は。

A 塾や家庭教師を利用していない瑞穂中学校、第二中学校の中学3年生の希望者40名を対象に、夏休みや冬休みの期間を利用して高校受験に特化した学習教室を実施する。

Q 指導内容は。

A 英語と数学を中心に都立入試の5教科を扱う。会場候補である瑞穂中学校、第二中学校において、習熟度別に2クラスを編成して指導する予定である。

※全ての議案の詳細はHPでご覧になれます。





下澤 章夫 議員 (自民誠和会)

EBPM (エビデンスに基づく政策立案) の導入について



町長 有効な先進的検証手段も見逃さず、政策・施策形成を図る



EBPMのイメージ図

町長 ご提案のEBPMを含めて、これまで種々の施策改善システムが提案されてきているが、基本的な考え方は、同一であると認識

質問 人口減少、超少子高齢化による生産年齢人口減少によって行政運営における財源確保の困難が、今後懸念される。町においても政策・施策における費用対効果のさらなる厳格化が要求されると思

町長 これからの農業は、これまでのように、個別に経営と生産を一つの農家が担ってきた体制を、農地集約



スマート農業に向けた補助金を活用して導入されたトラクター装着型GPS車速連動付き肥料散布機

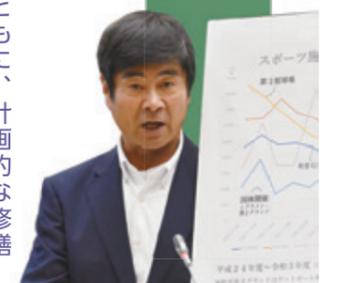
町長 2・89平方キロメートルは瑞穂町の2020年における農地面積である。この内、耕地面積は1・4平方キロメートルであり、20年間で約47・6%

古宮 郁夫 議員 (自民誠和会) 町の「農業」の今後と町民との情報共有について



町長 適時適切な情報発信に努める

大和 雅彦 議員 (自民誠和会) 誰もが身近で楽しむことができるスポーツ推進の現状と課題、今後の展開を問う



地域の方々との連携、協働を進める

質問 健康長寿の達成が望まれる社会となり、誰もが健康で元気に過ごすために、身近で楽しむことができるスポーツの推進が求められる。令和5年3月に第2次瑞穂町スポーツ推進計画の後期計画が策定された。スポーツ推進は、誰もが使いやすい場と機会を提供するものと考えている。また、部活動の地域移行の流れの中でさまざまな課題が出てきている。スポーツ推進の取り組みについて現状と課題、そして、今後の展開について伺う。



町営第2グラウンドでの少年野球の様子

町長 健康長寿の達成の育成、老朽化した施設の育成、老朽化した施設の適正な更新や維持管理である。今後の展開として、地域の方々との連携、協働を進める。また、施設の維持管理については、使用料および減免の仕組みが動き始めた。



香取 幸子 議員 (自民誠和会)

子ども・子育て支援施策の今後の展開について問う



町長 18歳までの医療費は実質無料となる



質問 令和6年度、町は新たな子ども・子育て支援施策として、子ども家庭センターの設置や、高校生等医療費の一部負担金撤廃を予定している。少子化が進行する中、今後、町

町長 18歳までの医療費は実質無料となる

町長 令和6年度、町は新たな子ども・子育て支援施策として、子ども家庭センターの設置や、高校生等医療費の一部負担金撤廃を予定している。少子化が進行する中、今後、町

少子化・人口減少対策に 本格的取り組みを



町長 長期総合計画の大きな視点と 捉えている

質問 有識者による人口戦略会議は、全自治体の4割が「消滅可能性自治体」であると発表された。わが町はこの中には含まれないが、出生率を上げる自然減対策と人口流出を抑える社会減対策が必要という分類になっている。町は多くの子育て支援策を行っているが、急激な少子化が進んでいる。人口減少に適合した社会と、子を産み育てやすい社会にすることが求められている。町は少子化・人口減少対策を本格的に取り組みべきと考えるが。

町長 町では、子育て期間中の各種給付事業を拡大、妊娠から子育て全般にわたる切れ目のない支援など、可能な限りの少子化対策に取り組んでいる。超少子高齢社会・人口減少は、多様な視点から取り組まなければならない。行政投資だけではなく、民間投資を呼ぶ総合力で、持続可能な地域社会をつくるための足掛かりをつくりあげなければならない。既に少子化、人口減少対策は町の長期総合計画の大きな視点と捉え、走り出している。



質問 能登半島地震ではライフラインなど甚大な被害があり、長期にわたり断水を余儀なくされている。被災地では、避難所や災害拠点病院などに設置されたトイレトレーラーが大いに活躍した。被災地のトイレ問題は、命に関わる深刻な問題であるが、給水タンク、充電式バッテリーやソーラーパネルを搭載したトイレトレーラーは、被災直後の断水時でも衛生的に使用できる。わが町でも導入し、町内外での被災地支援に活用すべきと考えるが。

町長 トイレトレーラーは、所有の場合、購入時の補助金があっても、維持管理経費、トイレけん引の資格や運用する人員の確保などが必要となり、費用対効果から、導入できる自治体は限られる。今後他自治体と連携し、国や都とも必要性、維持管理、稼働時の必要経費など課題と優先順位、在り方を考え検討するべきだと考える。

町長 町は、避難所などに18か所87台のマンホールトイレを設置し、組立式の簡易トイレ、携帯用トイレも備蓄しており、避難者数から想定したトイレ環境は確立している。

こんな質問もありました
認知症の人が希望をもって暮らせる取り組みを早期発見、早期対応を促進している。

町長 「認知症検診」を開始し、早期発見、早期対応を促進している。

下野 義子 議員 (公明党)

トイレトレーラーの 導入について問う



町長 費用対効果から導入できる自治体は限られる

町長 費用対効果から、導入できる自治体は限られる。今後他自治体と連携し、国や都とも必要性、維持管理、稼働時の必要経費など課題と優先順位、在り方を考え検討するべきだと考える。



トイレトレーラー (一般社団法人助けあいジャパン東京事務所提供)

質問 都は、2050年までに世界のCO2排出実質ゼロに貢献するため「ゼロエミッション東京」の実現を目指し、持続可能な航空燃料(SAF)の原料となる廃食用油回収の拡大を図り、SAFの製造へつなげる新たなサプライチェーン構築を後押しするとして「廃食用油回収促進に係る事業提案」を公募し、2事業を採択した。瑞穂町でも廃食用油回収の拡大に貢献するべきではないのか、所見を伺う。

町長 使用済み食用油回収を進めるべきとの提案だが、実施するためには、単自治体だけでは必要数量を安定的に確保しづらく、ある程度広域的に回収することが必要であると思われる。

町長 町でも終活に関する情報登録事業等の実施を

榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

廃食用油回収の拡大を



町長 広域的に回収することが必要である



町長 町でも終活に関する情報登録事業等の実施を

こんな質問もありました
終活情報登録事業等の実施を

町長 町でも終活に関する情報登録事業等の実施を

小川 龍美 議員 (公明党)

がん治療に伴うアピアランスケアに 助成制度の創設を



町長 助成事業の創設は 慎重に考えるべき

質問 がん医療の進歩により、治療を継続しながら社会生活を送る患者が増加している。しかし、がん治療では乳房切除や脱毛、爪の変色など外見(アピアランス)の変化に伴うことで悩みを抱えている人も多い。東京都ではウィッグなどの購入等に掛かる費用を助成する区市町村の取り組みを支援している。わが町も、がん患者の経済的負担を軽減し、療養生活の質の向上を図るため、アピアランスケアの助成制度を創設すべきと考える。

町長 国の計画に示されているアピアランスケアに関する施策は、相談支援・情報提供体制の構築にとどまってい

町長 町でも終活に関する情報登録事業等の実施を

こんな質問もありました
遺族に寄り添う「お悔やみ窓口」の設置を

町長 窓口業務のデジタル化に着手しており、死亡に起因する手続きについても整備するよう指示を出している。



アピアランスケア用品の一種であるウィッグ

欠陥機オスプレイの 配備撤回を



町長 国の専管事項であり 賛否をとる立場にない

質問 令和5年11月29日、鹿児島県屋久島沖に横田基地所属のオスプレイが墜落し、8名の米兵が亡くなった。そこで、次の3点について所見を伺う。

町長 町は、どのように捉えているか。

町長 「部品の不具合が墜落事故原因と特定し、安全対策を講じた」と発表があったが、基地周辺住民の不安は解消されていないとして追加要請を行った。



町を低空飛行するオスプレイ

町長 国および米軍に対し、市街地上空での低空旋回飛行が行われないよう、強く申し入れた。人員降下

訓練についても、事前の情報提供の徹底を国に対して要請している。

町長 このまま飛行再開することなく、令和6年度に予定されている4機の追加配備とすべのオスプレイ配備撤回を求めるべきでは。

町長 安全保障は国の専管事項で国防問題に地方自治体が賛否をとる立場にはない。

こんな質問もありました

町長 各公共施設におけるニーズなどを確認し、順次対応したい。学校内での配布方法は各学校と相談し改善したい。

町長 駅周辺、大型店舗など施設内での待機、もしくは近隣の一時避難所に誘導したい。



森 巨 議員 (自民誠和会)

町の教育諸問題について新教育長 に見解と今後の取り組みを問う



教育長 学校教育で最も大切にしたいのは、 子どもが幸せであること

質問 全国学力・学習状況調査において、町の児童・生徒の学力などが国や都の平均値を下回っていることが数値で示されている。また、急速に進む児童・生徒数の減少、学校施設の老朽化などの、今

後の学校施設の在り方についても検討が必要となつてきている。これらの課題に総合的に対して、新たに就任した教育長に見解と今後の取り組みについて伺う。

教育長 学校教育でも大切にしたいのは、第一に子どもが幸せであること、誰一人取り残さないことを基本とし、それぞれの能力をさらに伸ばすことである。授業としては、深い学びにつながる授業改善、困難を抱える児童・生徒への適切な支援などが重要である。また、学習用タブレットなどの教育資材を活用することも今日の課題となつてきている。これらの課題に総合的に対して、専門スタッフの活用などにより充実を図っていく。学校施設については建築後60年経過した校舎もあり、校舎の維持管理、更新について具体的に検討する時期に来ていると考える。

こんな質問もありました 「子ども計画」の成果 目標を問う

町長 成果目標を含め、実効性のあるものとなるよう策定作業を進めていく。



タブレットを活用した学習 (瑞穂中学校)

質問 地震を含めた災害は、いつ起きるか分からない。災害時の自助・共助・公助がどのように行われるのか、全町民が理解すべきと考える。そこで、災害時の避難対応について5点伺う。

町長 避難所等での担い手について。

町長 地域の自主防災組織、施設管理者などが担い手の中心となる。被災当初は職員が不足するため公助は当てにできないと考えてほしい。

町長 町は、いろいろな情報を集め、必要なものの順位を決めてから動き始める。

町長 避難所整備8項目の状況と課題について。

町長 避難所の運営管理が円滑に行われるよう、応急給水栓やLPガス発電機など、備品の整備を進めている。

町長 避難所の備品および備蓄品の内容と数量について。

町長 適正に管理している。

町長 帰宅困難者の対応に



川島 靖弘 議員 (立憲民主党)

災害時の避難対応や 設備・備蓄について



町長 地域の自主防災組織などが担い手の中心

町長 駅周辺、大型店舗など施設内での待機、もしくは近隣の一時避難所に誘導したい。

町長 遠隔地への避難は、都知事へ要請し調整した上で移送する。町外からの受け入れは国や都と調整し受け入れ体制を整備する。

町長 遠隔地への避難は、都知事へ要請し調整した上で移送する。町外からの受け入れは国や都と調整し受け入れ体制を整備する。



石畑3町内合同で行われた起震車を使った防災訓練

高橋 洋子 議員 (自民誠和会)

町の観光の魅力発信について、 現況と今後の展開を問う



町長 さらなる町の魅力発信に努める

質問 観光事業は産業面への効果だけではなく、観光イベントへの参加による町民の社会参加の機会創出や協働のまちづくりに対する意識向上にも有益であると考える。また、多摩都市モノレール箱根ケ崎方面延伸を見据えて、町の未来の姿を魅力的に発信することは、町への投資を大きく呼び込むことが期待できる。町は令和4年度にシテイプロモーション基本方針を策定したが、観光の魅力発信についての現況と今後の展開を問う。

活用しPR活動を積極的に進めている。プロモーション活動は行政だけでなく、住民、各種団体、事業者が一体となって取り組むことが重要となる。町では6年度、PR動画を制作する。地域資源やさまざまなアイデアを取り入れ、新たなPRツールとして活用し、さらなる町の魅力発信に努める。



役場庁舎にて行われたテレビドラマのロケーション撮影

議会モニター委嘱式 ~新年度スタート~

瑞穂町議会では、議会改革や活性化を推進し開かれた議会を目指すため、令和5年度より議会モニター制度を実施しています。

4月25日、議会モニターに応募いただいた皆さまに、議長より委嘱状を交付しました。

議会モニターの方々には、定例会や委員会を可能な範囲で傍聴していただき、アンケートへの回答などを通じてご意見をいただきます。



議会モニター委嘱式 (役場4階)

令和6年第1回(3月)定例会議会モニターアンケート

「議会だより」に厳しいご指摘や建設的なご意見を受けて

令和6年第1回(3月)定例会終了後に議会モニターからアンケートの提出がありました。本会議に関してや議会の在り方などについても厳しいご指摘や建設的なご意見を頂戴しましたが、今号では議会だより第240号に関する主な意見を掲載します。

一般質問は文字が多すぎる。質問内容と答弁を簡潔に。

リアルな議会の情報を伝えてほしい。

町民に関心を持ってもらえるような、簡潔で分かりやすい紙面を。

過去の一般質問で進展したことを報告すべきではないか。

WEB化しないと若者にリーチしないのでは。

議会を実際に傍聴したニュアンスと議会だよりの内容が違う。

議会だよりを編集している広報部会では、いただいた厳しいご指摘や建設的なご意見を受け、改善に向けて動き出しています。

奥泉 淳広 議員 (日本維新の会)

コミュニティバス 中学生無料化を

町長 小学生や高齢者などとのすみ分けが難しい

質問 バス利用者の地域偏在、財政負担は地域公共交通会議で議論されている。乗降客数が少なく「人を乗せていないバスを税金で走らせている」ならば、町の予算と住民サービスの有効活用方策として、中学生が生徒手帳を提示するだけで無料乗車できるようにし、雨天の部活や授業での移動、自転車通学の代替交通手段等として利用してはどうか。中学生無料化は将来的な民間バス利用の需要喚起にもつながると考えるが、所見を伺う。

町長 3年度に運賃無料の福祉バスからコミュニティバスに転換する際には基本的に有料化が議会においても認



雨の中運行するコミュニティバス

識されている。中学生と小学生、高校生、妊婦、高齢者などと、どうすみ分けるのか難しい。これまでコース見直しや配車時間帯などを改善してきたが、収支率は速報値で約7%であり、多額の公共負担が発生している。地域公共交通会議での議論を踏まえ、引き続き運行改善や利用促進に取り組みとともに、新たな移動手段についても研究していく。



井上 一也 議員 (もっと瑞穂に笑顔)

瑞穂町の子どもたちに、コミュニケーションで使える英語力を

教育長 横田基地内の学校とは 国の事業を活用し交流している

教育長 横田基地内の交流は、国の事業を活用し、小学校では学級単位の交流、中学校では中学生4名が2日間の交流行事に参加している。6年度、「日米クラブ活動交流」として、スポーツ交流を実施した。また、姉妹都市のモリガンの中学校との相互交流も再開に向けて調整中である。



バスケットボールを通じた中学生の日米交流事業 (瑞穂中学校) ※外務省より提供

町長 経費も割高となるため、現在のところ作製する予定はない。

こんな質問もありました
125cc以下のバイクにも「みずほまる」のナンバープレートを

質問 現在、「英語」は小学校、中学校でも教科として取り入れられている。本来、英語を含む「ことば」はコミュニケーションをとるための手段である。しかし、勉強としての「英語」となると、子どもたちにとっては「英語」

どもたちにとっては「難解」なものとして受け入れられる。横田基地も存在するが町の子どもたちに、コミュニケーションスキルを高めるために「ことば」として、「英語」を感じられる機会をつくることはどうか、町の所見を伺う。

れからも機会を捉えて、英語を介してのコミュニケーション能力を高められるよう、教育活動を行っていく。

音楽と関わられて幸せです。

大泉 潔美(おおいずみ きよみ)さん

バンドメンバー11人の「ブルービー」、4人の「コーヒブレイク」、2人の「モカ」。そして、妹さんと娘さんの3人ユニット「パール」では、娘さんの美しい歌声も楽しむことができます。それぞれの音楽ジャンルは異なりますが、潔美さんは、ピアノやキーボード、フルートなどを演奏しています。他にも50歳以上の方を対象にした町の「ぴあのくらぶ」の先生を23年間、赤ちゃんとお母さんの親子ふれあいコンサートなど、町の人たちに素敵な音楽を届けています。「音楽と関わられて幸せです」と笑顔で話す潔美さん。今日も町を美しい音色で輝かせてくれます。



娘さんと演奏した町民会館での「クリスマススペシャルコンサート」(右が潔美さん)

次回 9月定例会 (予定)

9月2日~25日

日	月	火	水	木	金	土
18 8月	19 請願、陳情の 受付締め切り日	20	21	22 議会運営委員会	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1 9月	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問・議案審議)	4 本会議 (一般質問・議案審議)	5	6 総務産業建設委員会	7
8	9 厚生文教委員会 広報広聴委員会	10	11 決算特別委員会	12 決算特別委員会	13 決算特別委員会	14
15	16	17	18 決算特別委員会 (議員間討議)	19	20 議会運営委員会	21
22	23	24	25 本会議 (議案審議)	26	27	28

■本会議、委員会の開始時刻は午前9時30分からです。なお、広報広聴委員会の開始時刻は午後1時30分になります。上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴に来られる際は、お電話または、ホームページで日程をご確認のうえご来庁ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

編集後記



松原中央公園の親水施設で遊ぶ子どもたち

酷暑の日々が続きます。昨年、東京都では7月8月の2か月間で41日が危険な暑さとなりました。今年は昨年以上の暑さが予想されています。熱中症に配慮した暑さから身を守る生活を心掛けてください。

6月定例会では、10月から始まるデマンド交通や多世代交流センターなどに関する議案が可決されました。瑞穂の未来に向けた新しい取り組みが始まります。

これからも、身近な話題を取材し、読者にわかりやすい紙面を目指して編集作業をしていきます。

文：大和 雅彦

広報広聴委員会 広報部会員
小川 龍美 大坪 国広
原 隆夫 香取 幸子
大和 雅彦 高橋 洋子
川島 靖弘



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2335
TEL/042-557-7693 (直通) FAX/042-557-4433
✉ gikai@town.mizuho.tokyo.jp